

平成30年8月28日公表

農業経営統計調査 平成29年産 原料用かんしょ生産費

— 10 a 当たり全算入生産費は、2.5%減少 —
— 100kg 当たり全算入生産費は、6.0%増加 —

【調査結果の概要】

平成29年産原料用かんしょの10 a 当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は14万4,387円で、前年産に比べ2.5%減少し、100kg 当たり全算入生産費は5,599円で、前年産に比べ6.0%増加した。

図 主要費目の構成割合（10 a 当たり）

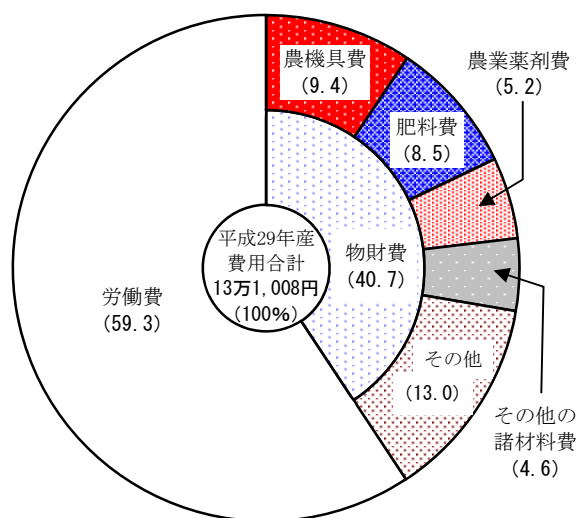


表1 平成29年産原料用かんしょ生産費

区分	単位	10 a 当たり		100 kg 当たり	
		実数	対前年産増減率	実数	対前年産増減率
			%		%
物財費	円	53,322	0.2	2,068	8.9
労働費	円	77,686	△ 3.9	3,012	4.5
費用合計	円	131,008	△ 2.3	5,080	6.2
生産費（副産物価額差引）	円	131,008	△ 2.3	5,080	6.2
支払利子・地代算入生産費	円	137,520	△ 1.9	5,333	6.6
資本利子・地代全額算入生産費	円	144,387	△ 2.5	5,599	6.0
収量	kg	2,579	△ 8.0	-	-
1 経営体 当たり 作付面積	a	96.1	3.3	-	-

本調査は、2015年農林業センサスに基づく農業経営体のうち、世帯による農業経営を行い、販売するために原料用かんしょを10 a 以上作付けした経営体（個別経営）を対象に実施した。

本資料は、農林水産省ホームページの「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/seisanhi_nousan/index.html#y6 】

◎ 調査結果の利活用

でん粉原料用かんしょ経営安定対策の資料として利用されているほか、各種政策の実施状況の把握や効果の検証等の資料として様々な場面で利用。

◎ 累年データ

原料用かんしょ生産費の推移

区 分	10 a 当たり 全 生 産 入 費			100kg 当たり 全 生 産 入 費	10 a 当たり 収 量	10 a 当たり 労 働 時 間	1 経 営 体 当 たり 作 付 面 積	参 考	
		物 財 費	労 働 費					作付面積	収 穫 量
	円	円	円	円	kg	時間	a	ha	千 t
平成 20 年 産	139,250	46,948	79,374	4,678	2,976	60.96	60.7	5,500	156
21	139,548	49,295	77,898	4,392	3,173	60.42	66.7	5,610	168
22	137,258	48,940	75,960	5,076	2,703	58.69	76.1	5,780	150
23	137,309	47,804	76,956	4,896	2,805	59.34	80.4	5,610	153
24	135,412	48,832	74,496	5,187	2,610	58.62	81.5	5,340	132
25	139,478	48,067	79,103	4,685	2,974	63.18	80.4	5,140	144
26	141,287	51,938	76,545	5,068	2,786	61.44	83.6	4,960	132
27	138,091	50,015	74,802	5,305	2,602	59.23	91.6	4,870	121
28	148,085	53,198	80,854	5,282	2,803	60.89	93.0	4,930	135
29	144,387	53,322	77,686	5,599	2,579	59.22	96.1	4,410	104

資料：農林水産省統計部『工芸農作物等の生産費』、参考は『作物統計』

注：参考は、でんぶん原料仕向けかんしょ（宮崎県及び鹿児島県）の数値である。

【調査結果】

- 1 10 a 当たり全算入生産費は14万4,387円で、前年産に比べ2.5%減少した。
これは、10 a 当たり収量の減少に伴う収穫労働時間の減少により、労働費が減少したこと等による。
- 2 100kg当たり全算入生産費は5,599円で、前年産に比べ6.0%増加した。
これは、10 a 当たり収量が減少したことによる。

表2 原料用かんしょ生産費

区 分	単位	平成28年産	29		対前年産 増減率
			実数	構成割合	
10 a 当たり				%	%
物 財 費	円	53,198	53,322	40.7	0.2
うち農機具費	〃	12,346	12,321	9.4	△ 0.2
肥料費	〃	11,816	11,184	8.5	△ 5.3
農業薬剤費	〃	6,832	6,814	5.2	△ 0.3
1)その他の諸材料費	〃	5,635	6,011	4.6	6.7
労働費	〃	80,854	77,686	59.3	△ 3.9
費用合計	〃	134,052	131,008	100.0	△ 2.3
生産費（副産物価額差引）	〃	134,052	131,008	-	△ 2.3
支払利子・地代算入生産費	〃	140,204	137,520	-	△ 1.9
資本利子・地代全額算入生産費	〃	148,085	144,387	-	△ 2.5
100kg 当たり全算入生産費	円	5,282	5,599	-	6.0
10 a 当たり収量	kg	2,803	2,579	-	△ 8.0
10 a 当たり労働時間	時間	60.89	59.22	-	△ 2.7
1 経営体当たり作付面積	a	93.0	96.1	-	3.3

注：1)その他の諸材料費は、マルチングのためのポリエチレン等の費用である。

【統計表】

1 生産費

(1) 10a 当たり

区 分	集 計 経営体数	物							
		計	種 苗 費		肥 料 費		農 業	光 熱	その他の
			購 入	購 入	購 入	薬剂費	動力費	諸材料費	
平成 28 年 産	70	53,198	2,742	1,207	11,816	11,617	6,832	3,807	5,635
29	66	53,322	2,692	1,188	11,184	11,107	6,814	4,353	6,011
対前年産増減率(%)	△ 4	0.2	△ 1.8	△ 1.6	△ 5.3	△ 4.4	△ 0.3	14.3	6.7

注：集計経営体数の対前年産増減率は対前年差である。

区 分	労 働 費				費 用 合 計			
	計	家 族	直 接	間 接	計	購 入 (支払)	自 給	償 却
			労働費	労働費				
平成 28 年 産	80,854	69,110	80,062	792	134,052	52,910	70,844	10,298
29	77,686	65,947	76,568	1,118	131,008	52,957	67,528	10,523
対前年産増減率(%)	△ 3.9	△ 4.6	△ 4.4	41.2	△ 2.3	0.1	△ 4.7	2.2

(2) 100kg 当たり

区 分	物							
	計	種 苗 費		肥 料 費		農 業	光 熱	その他の
		購 入	購 入	購 入	購 入	薬剂費	動力費	諸材料費
平成 28 年 産	1,899	98	43	423	415	244	135	201
29	2,068	104	46	434	431	264	169	233
対前年産増減率(%)	8.9	6.1	7.0	2.6	3.9	8.2	25.2	15.9

区 分	労 働 費				費 用 合 計			
	計	家 族	直 接	間 接	計	購 入 (支払)	自 給	償 却
			労働費	労働費				
平成 28 年 産	2,883	2,465	2,854	29	4,782	1,887	2,528	367
29	3,012	2,557	2,968	44	5,080	2,054	2,618	408
対前年産増減率(%)	4.5	3.7	4.0	51.7	6.2	8.9	3.6	11.2

単位：円

財			費							
土地改良 及び 水利費	賃借料 及び 料金	物件税及 び公課 諸負担	建 物 費		自 動 車 費		農 機 具 費		生 産 管 理 費	
				償却費		償却費		償却費		償却費
143	808	1,889	2,298	1,332	4,687	1,624	12,346	7,333	195	9
90	787	1,585	2,557	1,549	4,651	1,759	12,321	7,186	277	29
△ 37.1	△ 2.6	△ 16.1	11.3	16.3	△ 0.8	8.3	△ 0.2	△ 2.0	42.1	222.2

副産物 価 額	生産費 〔副産物〕 〔価額差引〕	支払利子	支払地代	支払利子・ 地代算入 生産費	自 己 資本金	自作地 地 代	資本利子・地代 全額算入生産費 (全算入生産費)
-	131,008	179	6,333	137,520	3,722	3,145	144,387
nc	△ 2.3	△ 55.3	10.1	△ 1.9	△ 0.1	△ 24.3	△ 2.5

単位：円

財			費							
土地改良 及び 水利費	賃借料 及び 料金	物件税及 び公課 諸負担	建 物 費		自 動 車 費		農 機 具 費		生 産 管 理 費	
				償却費		償却費		償却費		償却費
5	30	67	81	47	167	58	441	262	7	0
3	31	62	100	61	180	68	477	278	11	1
△ 40.0	3.3	△ 7.5	23.5	29.8	7.8	17.2	8.2	6.1	57.1	nc

副産物 価 額	生産費 〔副産物〕 〔価額差引〕	支払利子	支払地代	支払利子・ 地代算入 生産費	自 己 資本金	自作地 地 代	資本利子・地代 全額算入生産費 (全算入生産費)
-	5,080	7	246	5,333	144	122	5,599
nc	6.2	△ 50.0	20.0	6.6	8.3	△ 17.6	6.0

2 生産概況

区 分	1 経営体 当 たり 作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	10 a 当 たり 労 働 時 間			
			計	家 族	直 接 労 働 時 間	間 接 労 働 時 間
平 成 28 年 産	a	kg	時間	時間	時間	時間
	93.0	2,803	60.89	50.31	60.31	0.58
29	96.1	2,579	59.22	48.75	58.41	0.81
対前年産増減率 (%)	3.3	△ 8.0	△ 2.7	△ 3.1	△ 3.2	39.7

3 経営概況（1経営体当たり）

区 分	世 帯 員 数	農 業 就 業 者 数			経 営 耕 地 面 積		
		計	男	女	田	畑	
平 成 28 年 産	人	人	人	人	a	a	a
	2.3	1.7	1.0	0.7	338	77	261
29	2.3	1.7	1.0	0.7	409	85	323
対前年産増減率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	21.0	10.4	23.8

【調査の概要】

1 調査の目的

農業経営統計調査の原料用かんしょ生産費統計は、原料用かんしょの生産コストを明らかにし、農政（でん粉原料用かんしょ経営安定対策、生産対策、経営改善対策等）の資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

本調査は、2015年農林業センサスに基づく農業経営体のうち、世帯による農業経営を行い、原料用かんしょを10a以上作付けし、販売する経営体（個別経営）を対象に実施した。

3 調査事項

原料用かんしょの生産活動を維持・継続するために投入した費目別の費用、労働時間等

4 調査期間

調査期間は、平成29年1月から12月までの1年間である。

5 調査方法

調査は、調査票（現金出納帳・作業日誌及び経営台帳）を調査対象経営体に配布し、これに日々の生産資材の購入、生産物の販売、労働時間、財産の状況等を調査対象経営体が記帳する自計調査の方法を基本とし、職員又は統計調査員による調査対象経営体に対する面接調査の併用によって行った。

6 調査対象経営体数

66経営体（集計経営体数：66経営体）

なお、調査経営体は、全て鹿児島県に所在する経営体となっている。

注： 調査対象経営体のうち、調査期間中に調査不能となった調査対象経営体及び過去5か年の10a当たり収量のうち、最高及び最低の年を除いた3年間の10a当たり平均収量に対する調査年の収量の増減収率が±70%以上であった調査対象経営体を除いた調査対象経営体を集計対象としている。

7 集計方法

調査対象経営体ごとにウエイトを定め、全国又は規模階層別等の集計対象とする区分ごとに加重平均法により算出した。

この場合のウエイトとは、作付面積規模別の調査対象経営体数を、当該年産の「でん粉原料用かんしょの経営安定対策加入申請者数（（独）農畜産業振興機構）」のうちでん粉原料用かんしょ作付け（計画）のある個別経営体数で除した値の逆数としている。

8 実績精度

100kg当たり全算入生産費を指標とした実績精度を標準誤差率（標準誤差の推定値÷推定値×100）により示すと3.6%である。

9 用語の解説

- (1) 家族労働費とは、家族労働時間に「毎月勤労統計調査」（厚生労働省）の「建設業」、「製造業」及び「運輸業、郵便業」に属する5～29人規模の事業所における賃金データ（都道府県単位）を基に算出した男女同一単価（当該地域で男女を問わず実際に支払われた平均賃金）を乗じて評価したものである。
- (2) 自作地地代とは、その地方の類地（調査対象作目の作付地と地力等が類似している作付地）の小作料で評価したものである。
- (3) 自己資本利子とは、総資本額から借入資本額を差し引いた自己資本額に年利4%を乗じて算出したものである。

10 利用上の注意

(1) 表中に用いた記号は、次のとおりである。

「0」：単位に満たないもの（例：0.4円 → 0円）

「0.0」：増減がないもの

「-」：事実のないもの

「△」：負数又は減少したもの

「nc」：計算不能

(2) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「農業経営統計調査 平成29年産 原料用かんしょ生産費」（農林水産省）による旨を記載してください。

11 その他

この資料の詳細な数値はホームページに掲載（平成31年3月予定）するとともに、その後刊行する『農業経営統計調査報告 平成29年産 農産物生産費（個別経営）』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報はホームページでお知らせする。

【 ホームページ掲載案内 】

○ 各種農林水産統計調査は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「農家の所得や生産コスト、農業産出額など」、品目別分類「いも・雑穀・豆」の「農産物生産費統計」で御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/seisanhi_nousan/index.html#y6 】

○ 本統計の累年データは、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/seisanhi_nousan/index.html#l 】

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

経営・構造統計課 農産物生産費統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3631

（直通）03-6744-2040

FAX： 03-5511-8772

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口

(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>



漁業センサス

平成30年11月1日現在で、水産業を営んでいる方などを対象に、2018年漁業センサスを実施します。

（流通加工調査については平成31年1月1日現在）

調査票が届きましたら、記入の御協力をお願いいたします。
また、調査票はオンラインによる回答も可能です。